



「キャンプ瑞慶覧②」

はじめに

今月も地域の方々より聴き取り調査で教えて頂いた、キャンプ瑞慶覧基地の戦前の風景や湧泉の様子をイメージしたスケッチ図などを中心に歴史・文化遺産を紹介します。

シンバルガー(新原泉)

「アラグスクフルガー(新城古泉)」とも呼ばれ、新城集落が現在の普天間飛行場基地のところへ移動する以前、キャンプ瑞慶覧基地内に元々の集落があったとの言い伝えがあり、その頃の「ムラガー(村泉)」だったと言われる湧泉です。



ユタカノイズミ(豊之泉)

シンバルガーの下流の水路には米軍が造った揚水場があり、それが廃止された後伊佐浜の方々が水源地として使用するために造った比較的新



カンナシー(雷岩)

新城にあったという大岩で、戦前まで、ウーマクー(やんちゃ)な子どもたちは登って遊んだりしていたそうです。大昔の新城と安仁屋の集落移動に関係する次のような言い伝えが残されています。「昔、新城集落と安仁屋集落は隣り合って仲が悪くいつも喧嘩をしていたが、カンナシーが每晚怒鳴ったことから両集落の人々は恐れ集落を移動した」と。



ノグニクワヌメーヌカー(野国小之前之泉)

自然の湧泉で、伊佐浜などの近隣の住民や畑仕事をした人たちが利用したそうです。また「ウアマミシガー(馬浴泉)」とも呼ばれていたようです。



問合せ・・・文化課 ☎89314430

茶ぐわーゆんたく

113



留めておきたいシマクトウバ

「ケツケツケツ」と家の中でよく聞くこの鳴き声の正体は何でしょうか？トカゲに似た爬虫類の小動物、ヤモリ(ホオグロヤモリ)です。家内外の虫を食べることから家を守るものとされ、「守宮」または「家守」と書かれます。

そのヤモリを、それぞれの地域のシマクトウバ(方言では何と言うか、明治以前間切時代からあった14か字を対象に1984(昭和59)年と1999(平成11)年の2回調査を行ったことがあります。図1からわかるように、昭和の調査ではヤードムヤーとヤールーがそれぞれ1か字、ソージマヤー・ソージムヤーが14か字のうち12か字と大半を占めていました。ヤールーは嘉数だけで言われており、首里・那覇などから入ってきた新しい呼び方だと思われま



しかし、それが図2の平成の調査では逆にソージマヤーだけの呼び方のところが

1か字だけになり、その他はヤールー・ヤードウーか、ソージマヤー・ソージムヤーとの併用のところがあることがわかりました。前回の調査から10年以上経った現在、またさらに変化しているかもしれませ



みなさんは何と呼んでいますか？近年、9月18日の「しまくとぅばの日」が盛り上がりを見せていますが、こういう身近な小動物の名称からも地元言葉の再認識するきっかけになればと思います。

※しまくとぅばの日：毎年9月18日。2006(平成18)年に沖縄県条例によって定められた記念日。「く」で9、「とぅ」で10、「ば」で8のころあわせ。

『宜野湾市史』への問合せ  
文化課 市史編集係(市立博物館内)

☎870-9317